

元ちゃんの

奥深き、旧暦よ!

# 今年の天気「冬」

旧暦：神無月一日～師走三十日 新暦：令和2年11月15日～令和3年2月11日

## 1. 元ちゃんの旧暦予想「冬」

遅色山橘 (山橘(十両)の実遅い色づき)



は新暦11月15日から。まだ閏四月の影響が残り、少し遅めに“冬入り”するようです。本格的な冬の訪れは新暦12月下旬頃からとなりそうです。年内は暖かさ残るでしょう。一方、2021年の新暦正月は、まさに寒さこれから、といった頃でしょうか。暖かくしてお迎えください。冬が明けるのが新暦2月11日。年明けもしばらくは寒さ続きそうです。

あしひきの山橘(やまたちばな)の色に出でよ

語らひ継ぎて逢ふこともあらむ (春日王：万葉集)

(写真：江戸川土手の銀杏並木<新暦11月22日>)

## 2. 今年の「冬」

季節事象	観測日(新暦)	観測日(旧暦)	平年差
初氷(銚子)	12/15	霜月一日	-6
カエデ紅葉(銚子)	12/16	霜月二日	+4
初霜(銚子)	12/20	霜月六日	+9
つばき開花(水戸)	12/27	霜月十三日	+16

平年差：+<遅い> -<早い>

【気象官署の季節観測】

新暦11月16～20日頃、つまり冬入り直後は暖かくなりました。季節が数か月前にもどったようなポカポカ陽気。おおっ！元ちゃんの予想どおり、と思っていたら、新暦12月中旬頃より急に寒くなりました。おおっ！これも元ちゃん予想通り。新暦12月18日～20日頃には北陸地方や東北日本海側で記録的な大雪となりました。新暦2020年末頃、さらには新暦2021年1月7～11日頃にも強い寒気が南下し、これまた各地で大雪となりました。今秋の福井新聞に、「高さ1.7mの高さで百舌鳥の早贖を発見、今冬は大雪？」との記事が出ていましたが、百舌鳥予想も中的のようです。やはり動植物は季節をよく知っていますね。動植物の知恵に感服。なお、この冬は124年ぶりの2月2日に節分。関東地方で観測史上最も早い新暦2021年2月4日に春一番を観測した冬でもありました。そして今年は「地震に注意」と予想していましたが、新暦12月中旬頃、関東地方では強くはありませんが地震が続きましたね(なお、年が明けた新暦2月13日には福島・宮城で震度6強を観測しました。我が家も結構揺れました。).

## 3. 元ちゃんの「冬」



都心の半影月食  
神無月十六日(2/11/30)



空が割れた 1(野田市)  
霜月五日(2/12/19)



東空が割れた 2(流山市)  
霜月六日(2/12/20)



新暦元旦初日の出  
霜月十八日(3/1/1)

## 4. 元ちゃんの旧暦予想「春」 新暦 3.2.12～3.5.11

遅迎行春 (遅く迎への行く春や)



まだ昨年の閏月の影響が残っており、令和三年の春節(旧暦元日)は新暦2月12日となります。一般的な春の始まりよりも1週間以上遅く(そういえば年内立春ですね)、遅めの春の訪れとなりそうです。本格的な暖かさは、新暦3月中旬頃からでしょう。梅や桜の見ごろも遅めかな。少し寒い春かもしれません。春の終わりは新暦5月11日。

行く春や 鳥啼き魚の目は涙 (『奥の細道』 松尾芭蕉)